Ys ORIGIN

Falcom

Ys ORIGIN

OFFICIAL VISUAL BOOK

イース・オリジン オフィシャル・ビジュアルブック



Ys ORIGIN
イース・オリジン





Ys ORIGIN

OFFICIAL VISUAL BOOK

イース・オリジン オフィシャルビジュアルブック

2006 Falcom



かつて、歴史の流れに消えていった
大いなる伝説の国があった。

イース。

双子の女神と六神官に導かれ、
地上に栄華を誇った理想郷。

そこでは、女神の至宝たる
《黒真珠》によって
人々に大いなる恩恵がもたらされていた。







数多の奇蹟を可能にする《魔法》、
そして魔力を増幅する金属《クレリア》——

この二つによってイースは栄え、
輝ける日々は永遠に続くかと思われた。

——しかしある時、その災厄は訪れた。

前触れもなく数多の魔物が現れ、
イースに侵攻してきたのである。





魔物は瞬く間に地上を蹂躙し、
ついに人々は、女神たちの住まう
サルモン神殿にまで追い詰められた。





全てが終わったかと思われたが
女神と六神官は、《黒真珠》の力で
神殿を浮上させる事に成功する。



しかし地上に巨大な《塔》が築かれると
翼を持った魔物が天空に飛来し、
再び破滅の危機が訪れようとしていた。

――そんな中、地上から離れた
サルモン神殿を揺るがす事件が起きる。



あろうことか、イースの象徴である
双子の女神が姿を消したのだ。

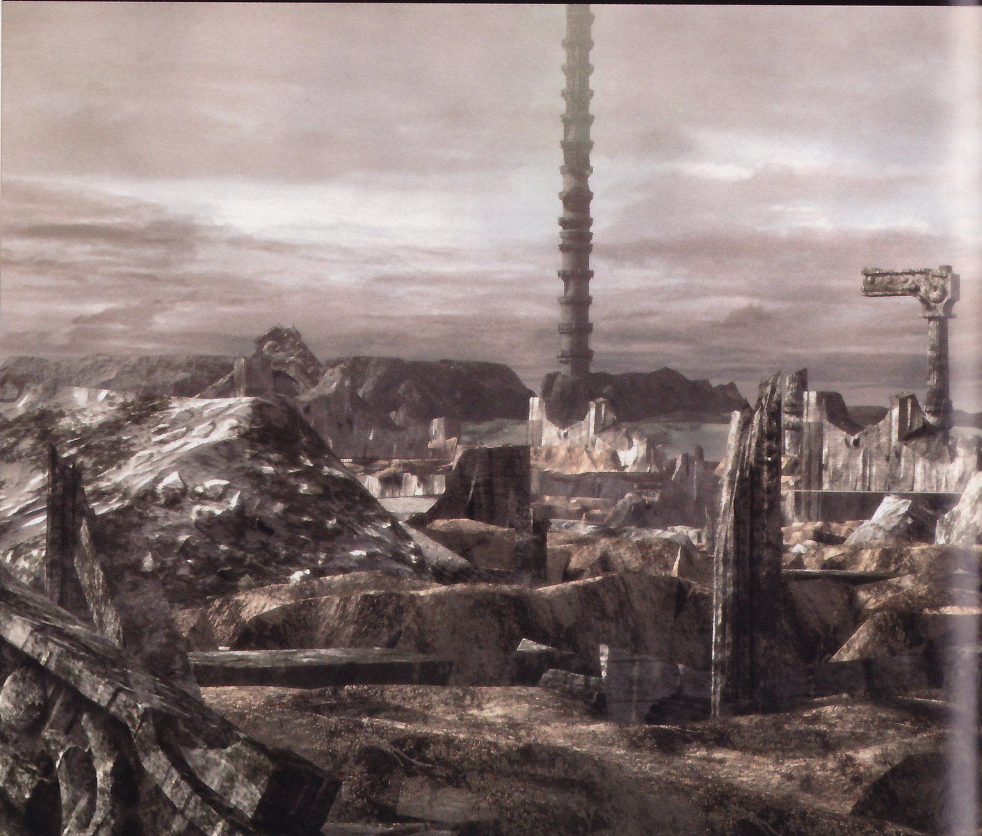




人々が絶望する中、
六神官は一つの決断を下した。

消えた女神たちを探すため、
騎士や魔道師から精鋭を選りすぐり、
闇に閉ざされた地上に遣わしたのである。

CONTENTS




Ys ORIGIN
OFFICIAL VISUAL BOOK
イース・オリジン オフィシャルビジュアルブック



World of Ys ORIGIN

イース・オリジンの世界

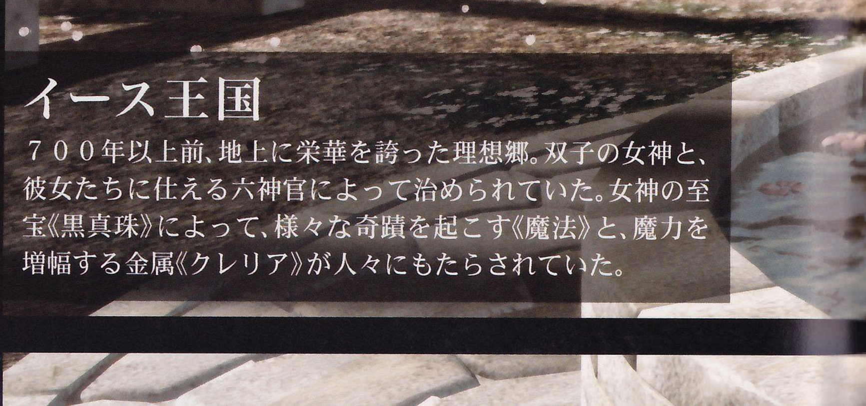
かつて、地上に栄華を誇り、理想郷と謳われながら、
突如歴史の流れの中へと消えていったイース。
確かに存在したはずの理想郷は、永い時を経ていつしか伝説となった。
《双子の女神》、《黒真珠》、《サルモン神殿》、《塔》…
伝説に秘められたイース滅亡の謎を解くためのキーワードを、
美麗３ＤＣＧと共に紹介する。





イース王国

７００年以上前、地上に栄華を誇った理想郷。双子の女神と、彼女たちに仕える六神官によって治められていた。女神の至宝《黒真珠》によって、様々な奇蹟を起こす《魔法》と、魔力を増幅する金属《クレリア》が人々にもたらされていた。







双子の女神

純白の美しい翼を持つ、イースを治める女神たち。姉神の名はレア、妹神の名はフィーナという。かつて海の彼方から人々を率い、この地に辿り着いて初代の《六神官》と共にイースを建国したと伝えられている。

六神官

女神たちに直接仕え、人々を導く役割を担う六人の神官たち。《力》を司るトバ、《心》を司るファクト、《大地》を司るハダル、《光》を司るダビー、《時》を司るメサ、《知恵》を司るジェンマという六つの有力な家系から代々選ばれてきた。



黒真珠

女神がもたらした神々の至宝。人々に魔法をもたらし、大地の銀をクレリアに変化させ、サルモン神殿を天空に浮かせるなど、人知を超えた力を秘めている。扱えるのは女神だけで、普段はサルモン神殿の中枢に安置されていた。

クレリア

《黒真珠》によって性質を変化させた銀のこと。鋼を上回る硬度と、魔力を増幅する性質を備えており、様々な用途に利用されることで人々の生活を飛躍的に向上させた。しかし魔物が現れるようになってから、何故か女神と六神官によって地表近くに埋蔵されていたクレリア鉱が大地の底へと封印されてしまった。





サルモン神殿

イース王国の中枢でもある巨大な神殿都市。数多の儀式の間、大勢の神官たちが暮らす居住区の他、最上層には女神たちのいる壮麗な白亜の宮殿が建っている。魔物の侵攻の際、避難してきた人々を収容してから天空へと浮上した。



サルモン神殿浮上

魔物たちの軍勢が押し寄せる中、女神と六神官は《黒真珠》の力を使った儀式を執り行い、サルモン神殿の一帯を天空に浮上させるという奇蹟を起こした。その際、時間を稼ぐため地上に残った者たちがいると伝えられている。



《塔》

サルモン神殿浮上後、魔物によって建造された漆黒の巨大な塔。ここから翼ある魔物が天空に飛来し、サルモン神殿に再び危機が訪れた。何のために建造されたのか、はっきりとした理由は判明していない。





Chacter Illustration

キャラクターイラスト

主人公、ユニカとユーゴ。彼らを取り巻く捜索隊の面々。
その前に立ち塞がる《闇》を名乗る敵。捜索隊を派遣した六神官。
——そして双子の女神、レアとフィーナ。
それぞれの運命に挑むキャラクターたちの設定画やラフイラストを公開。





ユニカ＝トバ

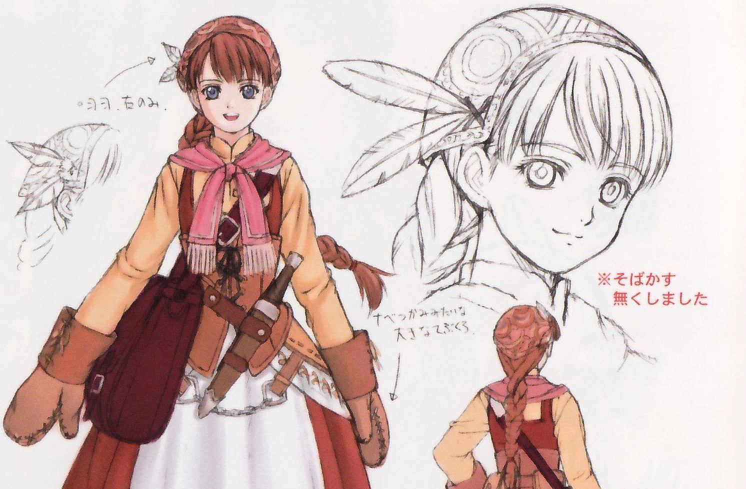
落ちこぼれの騎士見習い



YUNICA=TOVAH

神官トバの家系に生まれた天真爛漫な少女。幼少の頃からサルモン神殿の女神宮に忍び込み、そのつど女神たちから妹のように可愛がられていた。神官の家系に生まれながら魔法の使えない落ちこぼれだが、あえて神殿騎士に志願し、女神の捜索隊にも強引に参加した。

YUNICA=TOVAH



※そばかす
無くしました



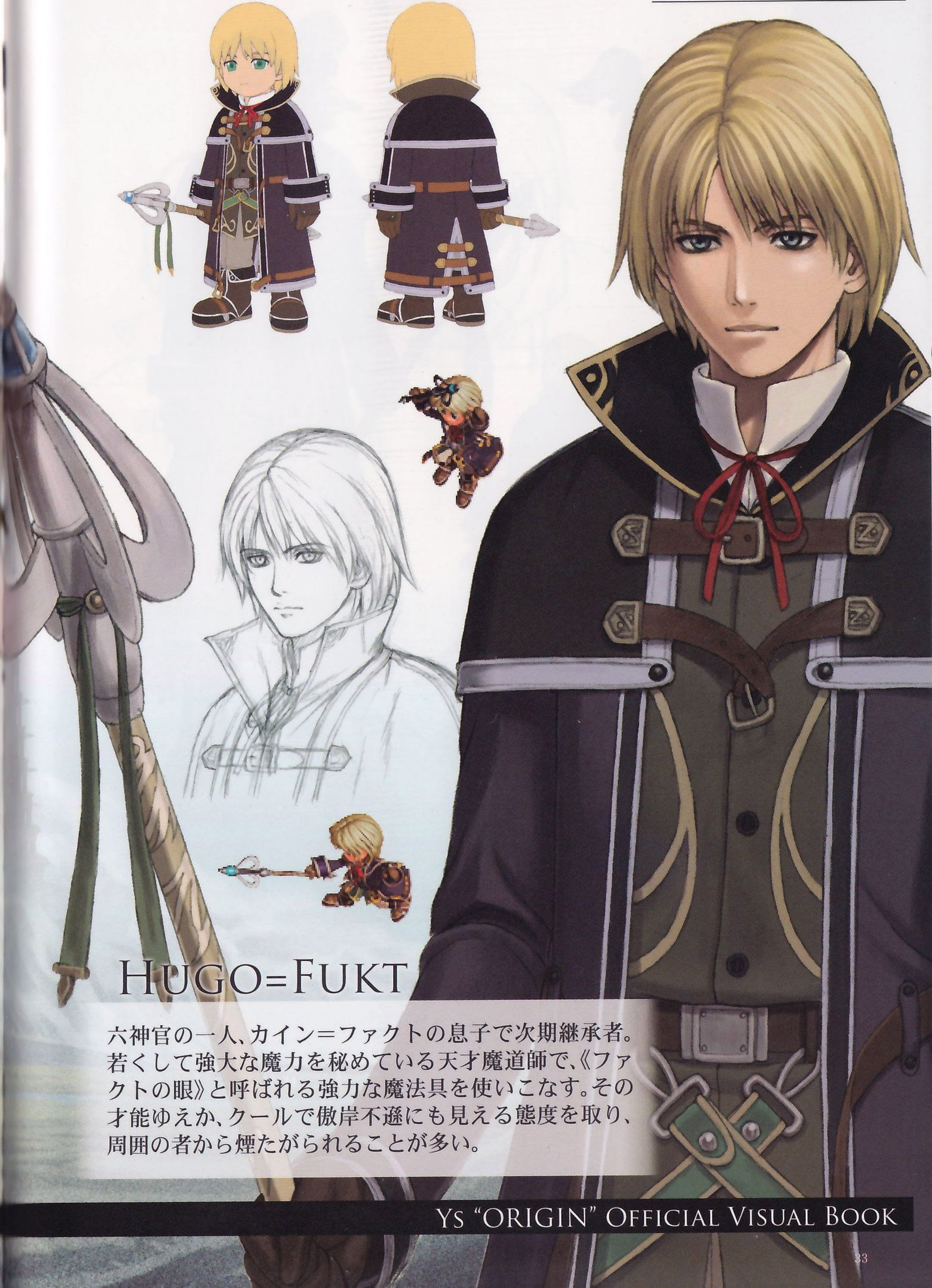
◀ユニカの斧


左右反転
■ユニカ初期設定■



ユーゴ＝ファクト

若き魔道の天才



HUGO=FUKT

六神官の一人、カイン=ファクトの息子で次期継承者。若くして強大な魔力を秘めている天才魔道師で、《ファクトの眼》と呼ばれる強力な魔法具を使いこなす。その才能ゆえか、クールで傲岸不遜にも見える態度を取り、周囲の者から煙たがられることが多い。

HUGO=FUKT







◀ユーゴの杖







サルモン神殿祭司長
シオン



S Y O N

サルモン神殿を管理する若き祭司長。六神官から女神捜索隊の責任者に任じられ、エオリア、ディーノとともに主人公たちを地上に送り届けた。

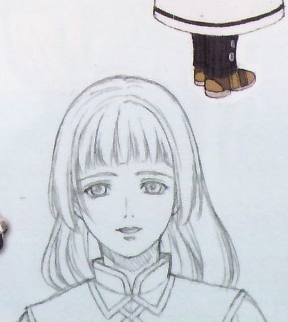

自然を愛する女祭司
エオリア







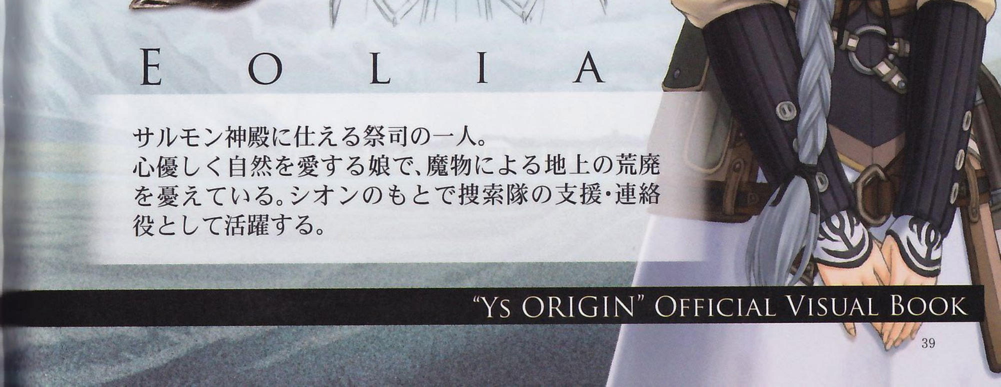
▼リラの貝殻





E O L I A

サルモン神殿に仕える祭司の一人。
心優しく自然を愛する娘で、魔物による地上の荒廃を憂えている。シオンのもとで捜索隊の支援・連絡役として活躍する。





穏やかな神殿祭司

ディーノ



D I N O

サルモン神殿に仕える祭司の一人。
転位魔法を得意とする、穏やかで気のいい青年。地上で散り散りになった捜索隊を集結させるために奔走する。



勇猛果敢な騎士団副長

ガレオン

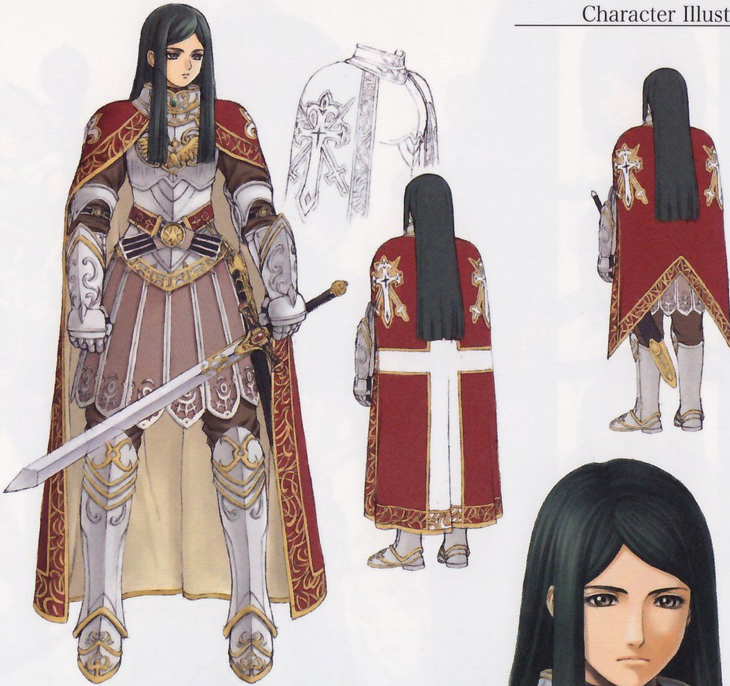


GALLEON

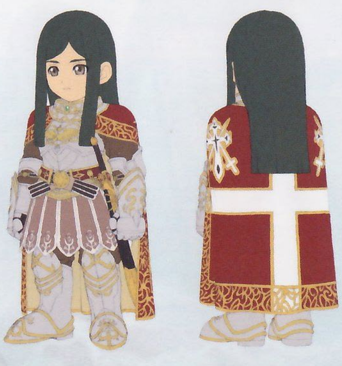
女神を守護する神殿騎士団の副長を務める。ユニカの父、サウル=トバのかつての部下でもあった。常に自ら先頭に立つ果敢な性格で、騎士たちの信望も厚い。



剣と攻撃魔法の使い手 セシリア



◀セシリアマント初期設定



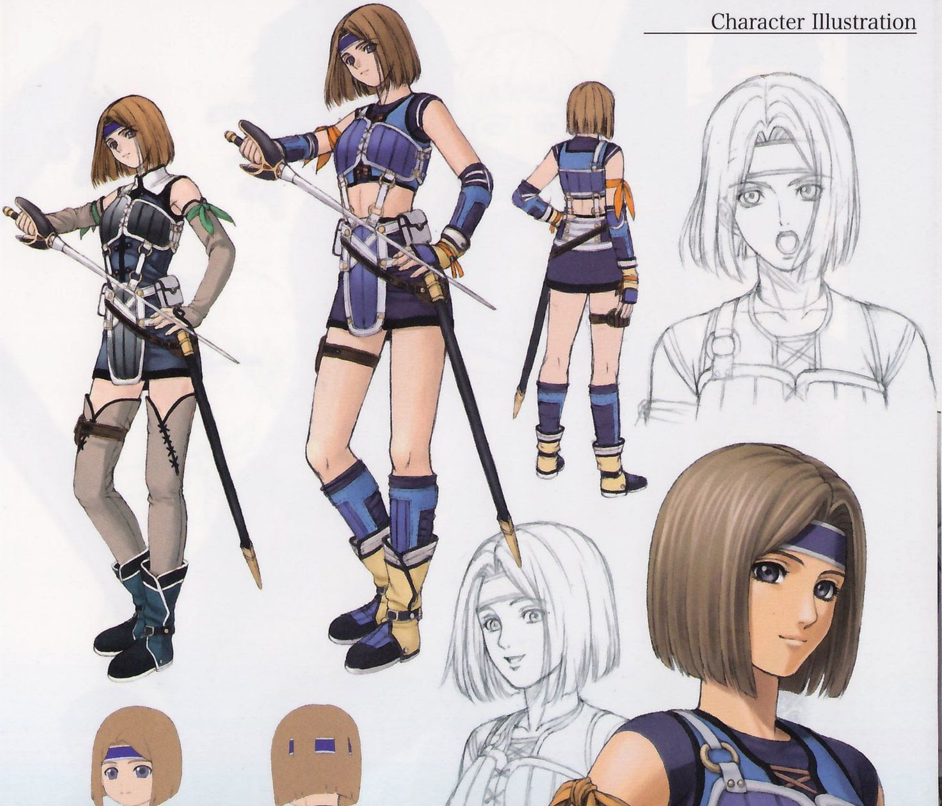


CECILIA

神殿騎士団でガレオンの補佐を務める女騎士。頑固で融通の利かない古風な性格の持ち主。剣だけでなく、魔道師クラスの攻撃魔法を扱うこともできる。



ラモナ
面倒見の良い姉御肌



R A M O N A

細剣を得意とする、姐御肌でさばけた女騎士。一見正反対の性格だが、同期のセシリアとは仲が良い。面倒見がよく、ユニカやロイにとっては良き理解者でもある。





ロイ

ユニカの幼なじみ兼兄代わり

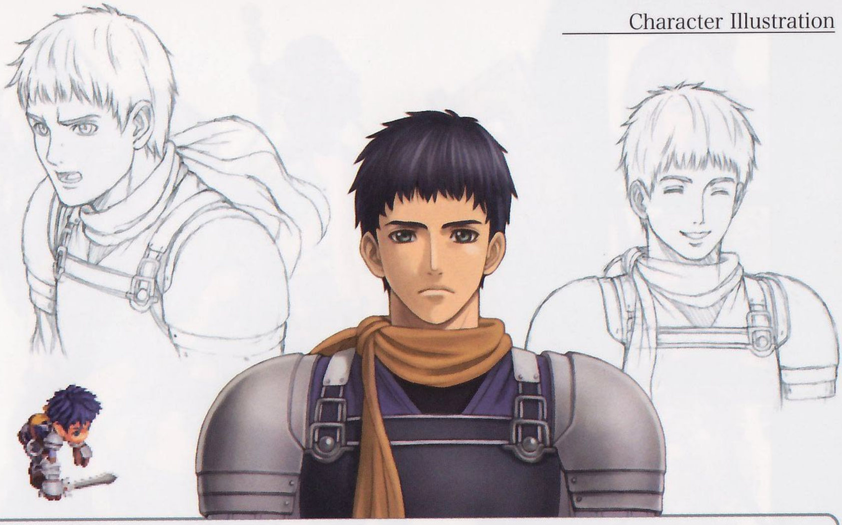


R O Y

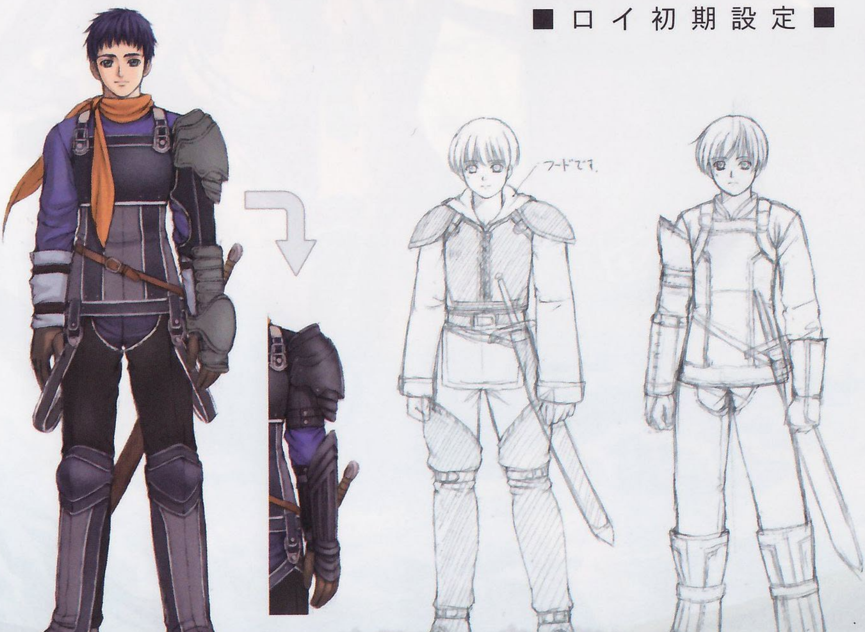
神殿騎士団に所属する青年騎士。新米だが剣の腕と判断力を買われて捜索隊に抜擢される。ユニカの幼なじみで兄代わりだが、それが彼女の反発を買うことも。

ROY


※袖の部分は肩の鎧部分と一体になっている厚手の布です。
※胸当て部分は鉄ではなく革です。下の黒いライン部分と同じ材質です。



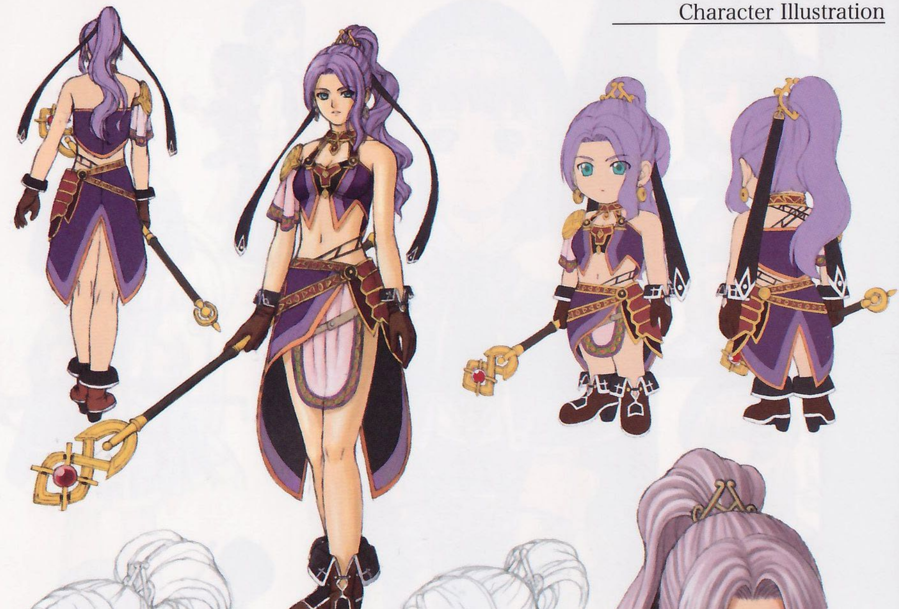
■ロイ初期設定■





実力派女魔道師

カデナ





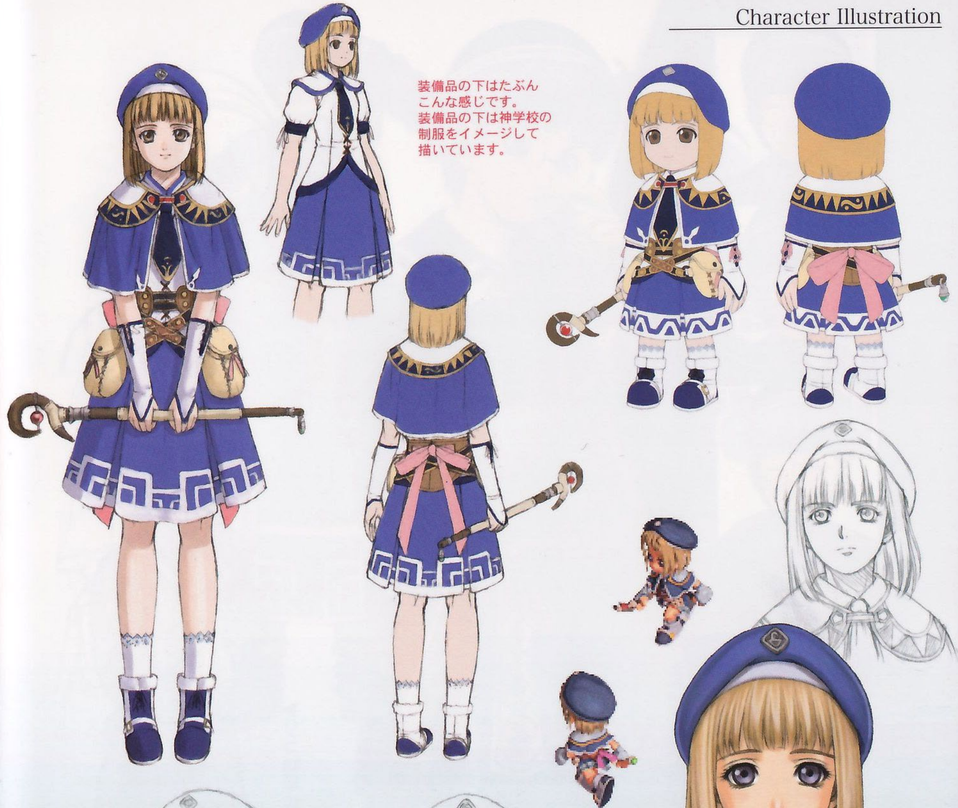
C A D E N A

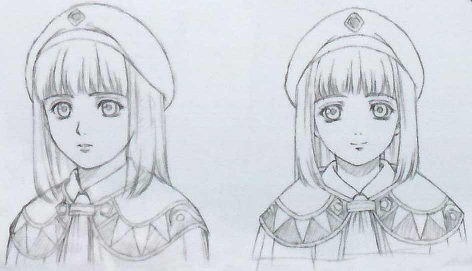
ユーゴの先輩で炎の魔法を得意とする女魔道師。捜索隊に参加した魔道師たちを束ねる立場にある。魔法や呪いに関する知識が豊富で、捜索隊の中でも一目置かれる存在。



ユーゴを慕う新米魔道師
ミュシャ

▶ミュシャ初期設定







M U C H A

捜索隊に参加している新米の女魔道師。ユーゴの幼なじみで治癒魔法を得意とする。内気で臆病だが、ユーゴへの想いから捜索隊に志願している。



リコ＝ジェンマ

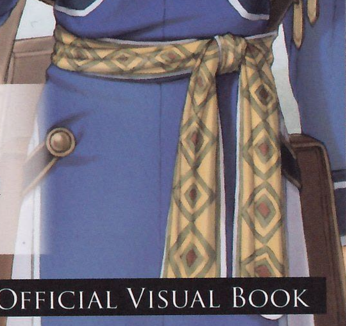
神官ジェンマの孫

▶リコ初期設定



RICO=GEMMA

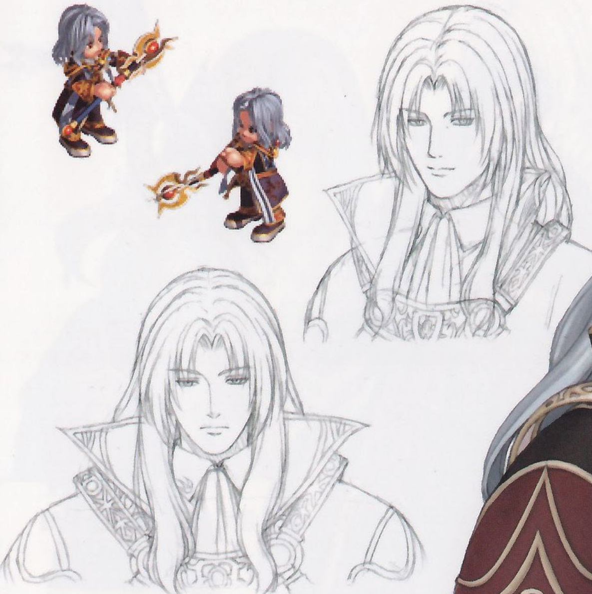
真っ先に《塔》への侵入を果たした新米の魔道師。
ユーゴの幼なじみで神官ジェンマの孫にあたる。
ジェンマの知恵を活かした練成魔法を得意とし、捜
索隊の武具を強化する。





闇を統べる黒き魔道師

ダレス







DULESS

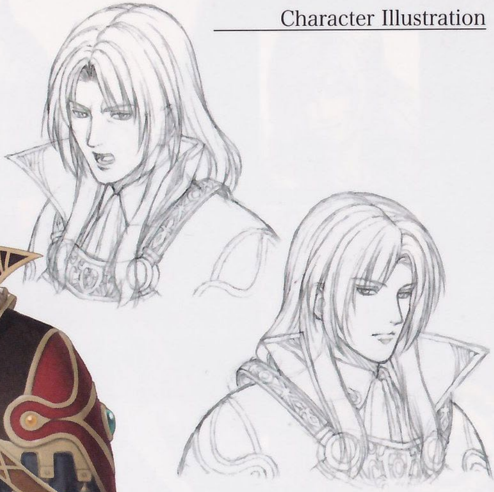
《闇》を率いている黒衣の魔道師。絶大なる魔力を秘めており、石化などの高度な呪いを駆使する。いつも氷のような微笑を浮かべ、その行動には些かの揺るぎもない。

DULESS









■ダレス初期色設定■







妖艶なる女魔道師

ザバ



Z A V A

ダレスの右腕を自認する妖艶なる女魔道師。強大な魔物を何体も召喚し、自在に使役する力を持っている。性格は陰険で残酷、気に入らない者は徹底的にいたぶろうとする。



キシュガル

静かなる狂戦士

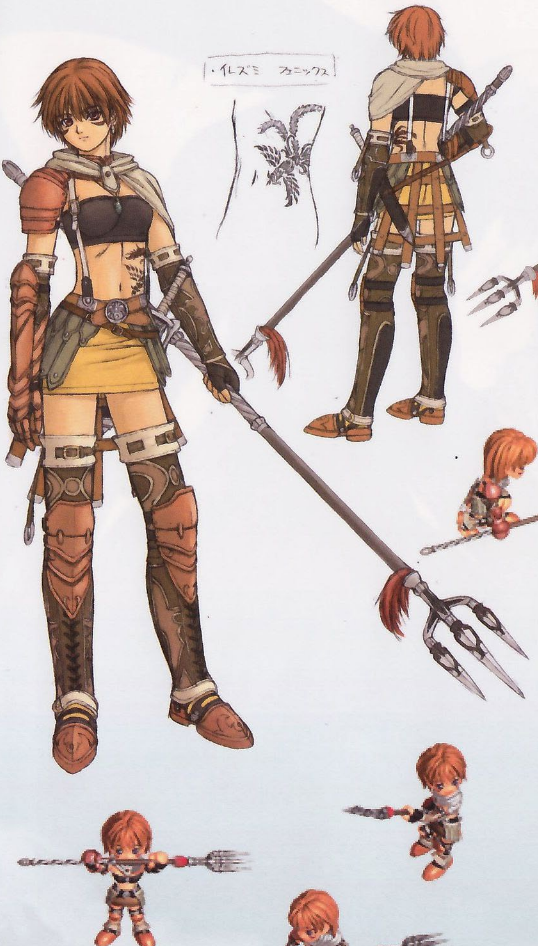


KISHGAL

《戦鬼》の異名を持つ静かなる狂戦士。圧倒的な膂力と闘気をもって振るわれる斧槍は全てを打ち砕く。真の戦士との死合いを何よりも望み、魔道師には全く関心を示さない。



魔道師嫌いの女戦士
エポナ





E P O N A

三叉槍を自在に振るう俊敏なる女戦士。性格は気ままで残忍だが、時おり素直で純粋な所を覗かせる。「理屈っぽくて根暗なのが多い」という理由で魔道師を嫌っている。



鉤爪の男

ダレスに協力する謎の男

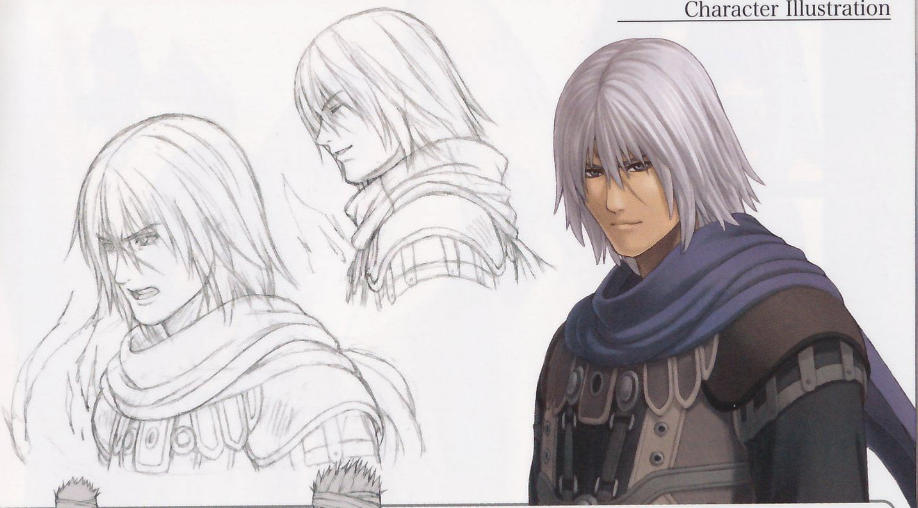


THE CLAW

ダレスに協力し、捜索隊の前に立ち塞がる敵の一人。名前は仲間にも明かさず、ただ《鉤爪の男》とだけ呼ばれている。《魔》の因子を解放することで、恐るべき力を振るう《魔人》と化す。


※顔に傷あと あります.
武器は パタと 鉄の爪を
合わせたようなものです.
戦闘時以外は、刃は こて部分に
収納されています.
◀鉤爪

THE CLAW



■鉤爪の男初期設定■







《秩序》を司る姉神
レア



R E A H

双子の女神の一柱で、《秩序》を司る姉神。責任感が強く、常にイースの平和と安寧を気にかけている。ハーモニカを嗜み、時おり女神宮から美しい調べが聞こえてくる。







◀銀のハーモニカ



REAH

■レア衣装初期設定■



◀レアフォーマル衣装

◀レア塔内衣装



《自由》を司る妹神

フィーナ



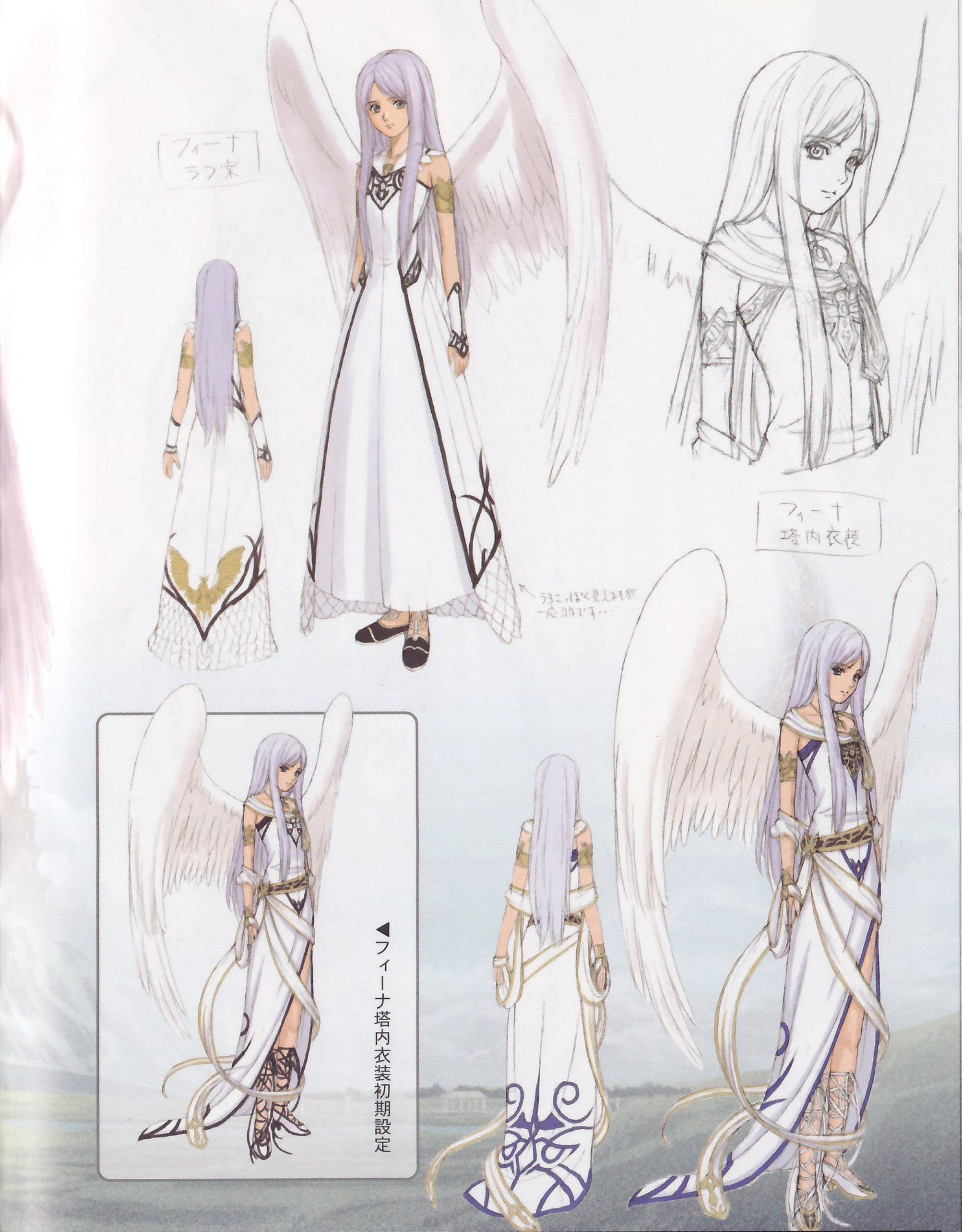
F E E N A

双子の女神の一柱で、《自由》を司る妹神。心優しく控え目で、いつも人々の幸福について気を配っている。ハーブを嗜み、訪れた者にハーブティを淹れてもてなしてくれる。



FEENA

"Ys ORIGIN" Official Visual Book 『イース・オリジン』オフィシャルビジュアルブック



◀フィーナ塔内衣装初期設定



“Ys ORIGIN” Official Visual Book『イース・オリジン』オフィシャルビジュアルブック

REAH & FEENA





女神と共にイースを治める
六神官

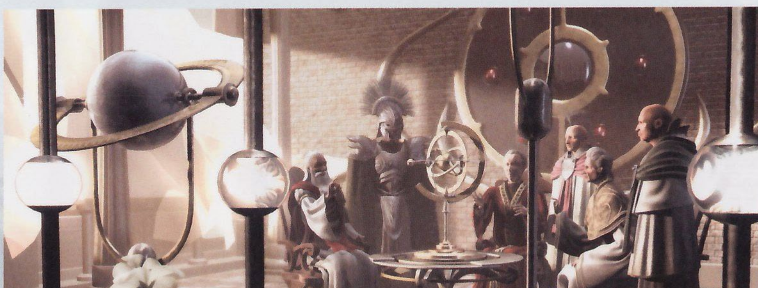
TOVAH

《力》を司る神官。
ユニカの祖父にあたる。



SIX PRIESTS

女神たちに直接仕え、人々を導く役割を
担う六人の神官たち。
《力》を司るトバ、《心》を司るファクト、
《大地》を司るハダル、《光》を司るダビー、
《時》を司るメサ、《知恵》を司るジェンマ
という六つの有力な家系から代々選ばれてきた。
現在ではユニカの祖父や、ユーゴの父などが六神官を担っている。



SIX PRIESTS





◀ファクト初期色設定



CAIN=FUKT

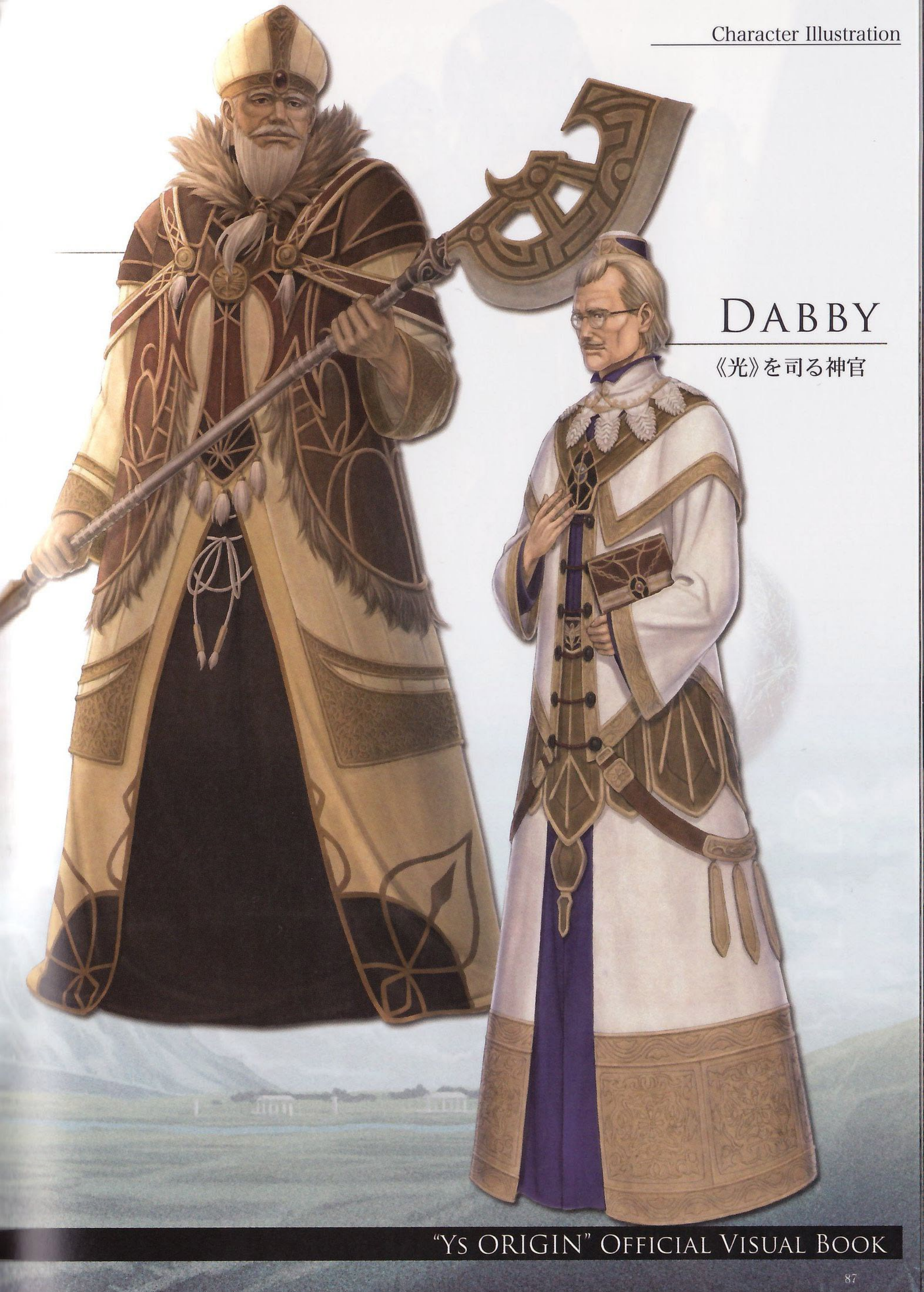
《心》を司る神官。
ユーゴの父。



HADAL

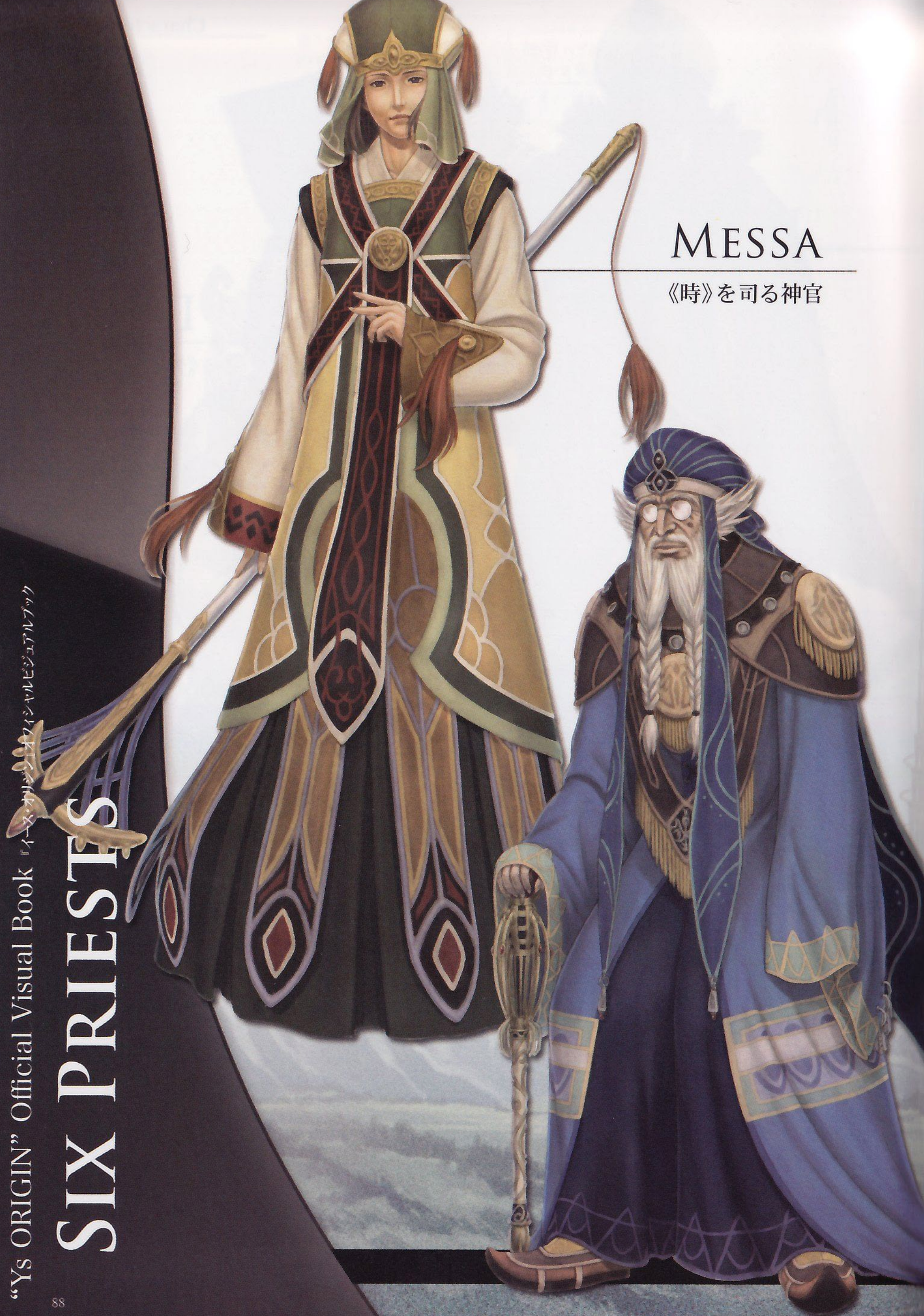
《大地》を司る神官





DABBY

《光》を司る神官



MESSA

《時》を司る神官

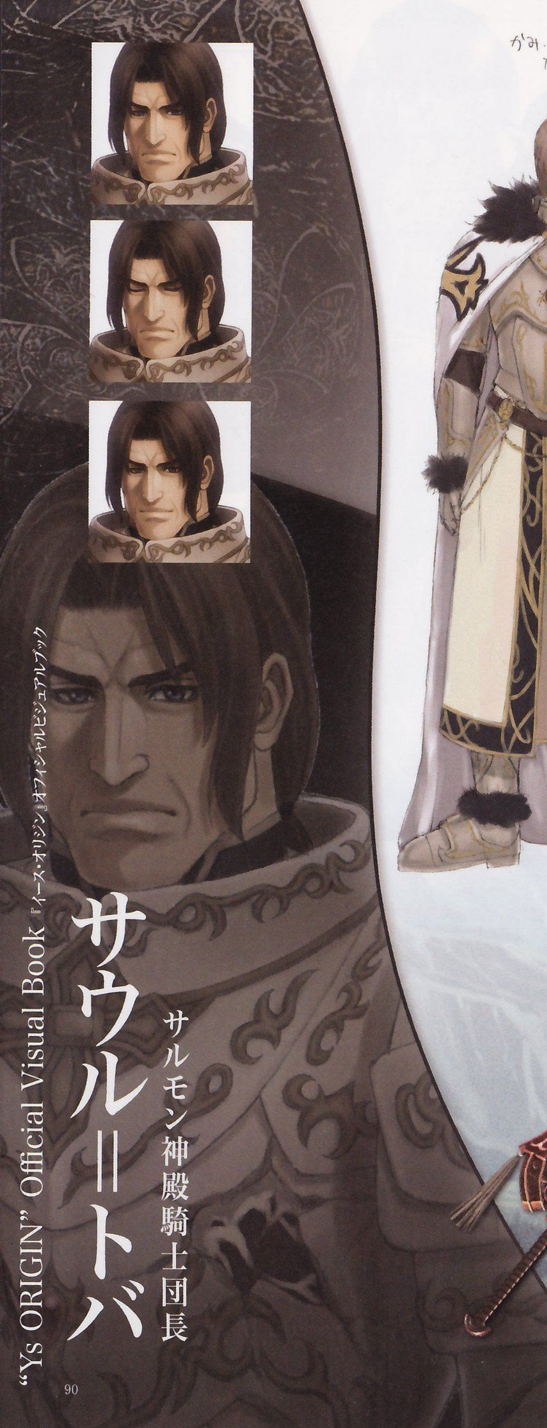


◀ジェンマ初期色設定



GEMMA

《知恵》を司る神官。
リコの祖父。





サウル＝トバ

サルモン神殿騎士団長



◀紅蓮の大剣



SAUL=TOVAH

ユニカの父で元神殿騎士団長。魔法の使えないユニカにとって憧れと尊敬の対象であったが、サルモン神殿浮上の際、時間を稼ぐため崩壊する地上に残り、迫り来る魔と戦った。



トール＝ファクト

イースを救った英雄







THOR=FUKT

神殿騎士団でガレオンと共に副長を務めていたユーゴの兄。神官ファクトの長男で次期継承者と言われていたが、自ら騎士の道を選んだ。サルモン神殿浮上の際、地上に残りサウルと共に戦った。

Ys ORIGIN Materials

ビジュアル設定資料

「イース・オリジン」開発時に作成されたイメージ資料を公開。
イース浮上による影響や、サルモン神殿の内部構造、
更にはゲーム未登場の街や村の設定まで。
「イースI」・「イースII」へと繋がる、シリーズファン納得の設定資料！

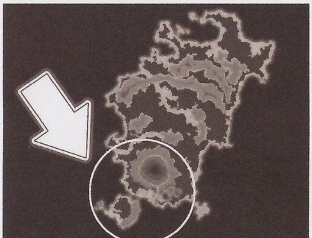


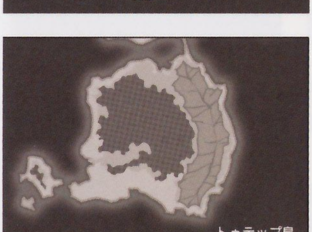
※設定は開発段階のもので、最終的な決定とは異なるものも含まれます。

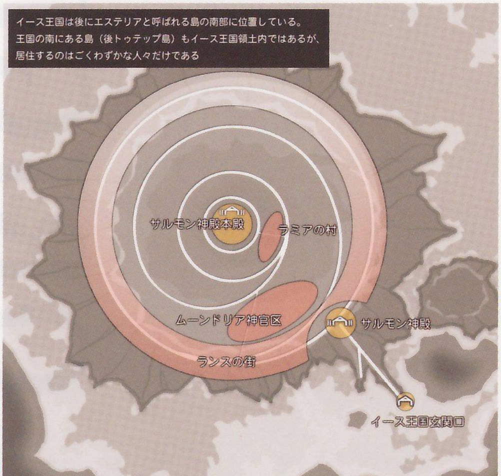
イース浮上前～エステリア～



【浮上前のイース】エステリアで最も標高が高い「プレシェス山」を中心に国が建てられた。





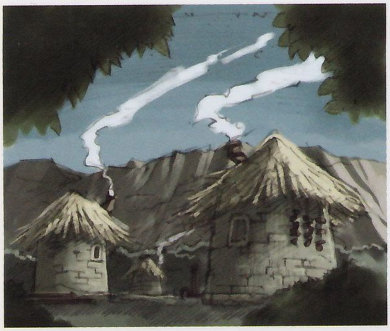


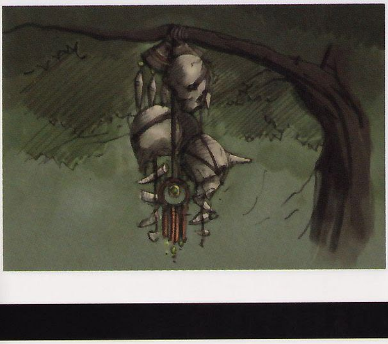




【イース浮上後の変化】

緑豊かだった国土の半分以上が、イース浮上の影響と魔物によって荒廃。





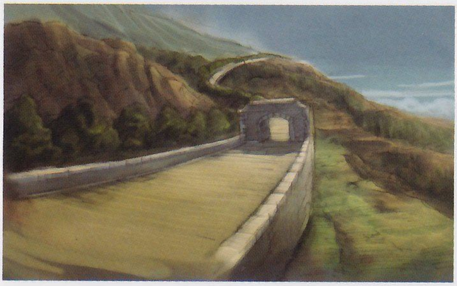
【エステリア北側の山脈】





【草原】

イース浮上前、プレシェス山の南に広がっていた草原。



【イース王国外周道】

王国の周囲には整備された石造りの道がサルモン神殿に向かって螺旋状に伸びている。

【イース初期イメージ】



イース王国



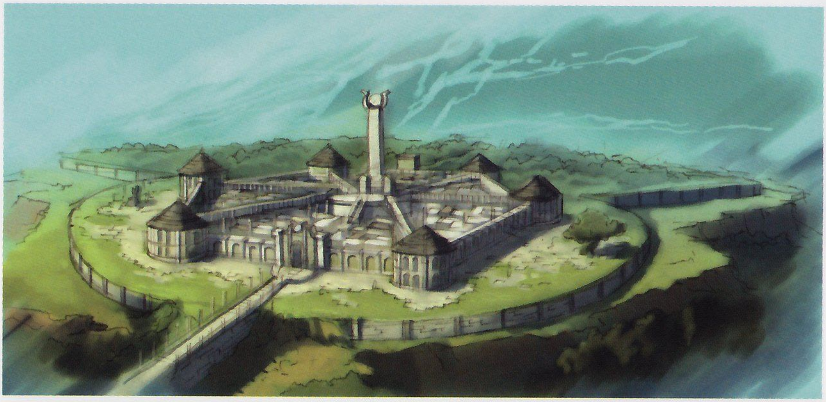
【浮上直後のイース】
浮上を急ぎすぎたために、周囲の岩盤のいくつかを共に浮上させてしまった。黒真珠の負担を少しでも軽くするために、これらは後々安全の確認がされたものから落下させられた。

【ランスの街】 イース下層部に位置する最も大きな居住区。イース浮上の際に上下に分断されたため、最下層に住む人々は上層へと避難した。

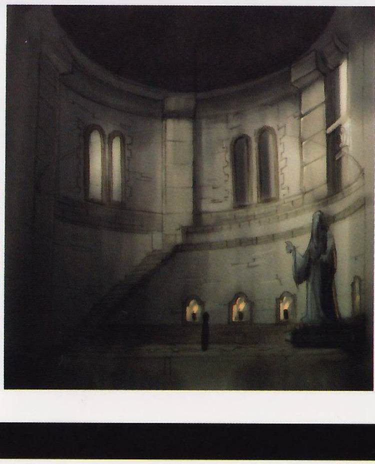




【ランスの街ラフイメージ】

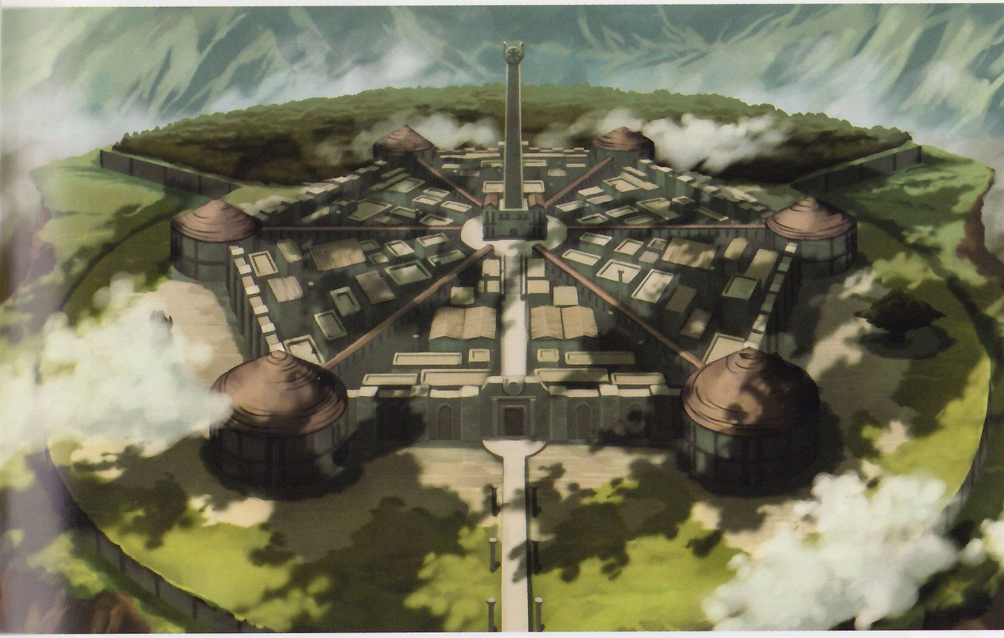


【ムーンドリア(神官区)ラフイメージ】



【ムーンドリア:六方の部屋】

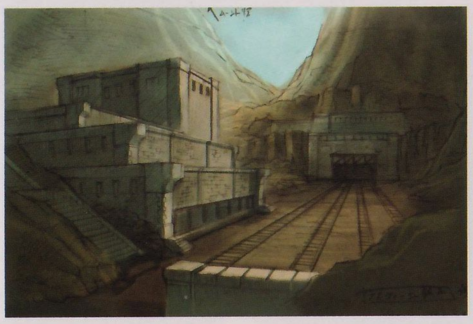
後の「聖域トール」。六神官を称える目的で建造。
魔物の侵攻に伴い、像は地下へ移された。

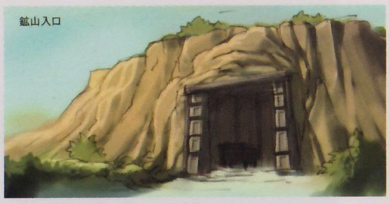


【ムーンドリア】 イース王国の神官区

【ラスティーニ鉱山】

ムーンドリアの北側の麓に位置する大規模な鉱山。
鉱山内では地下水が湧き、セルセタの花が生育している。

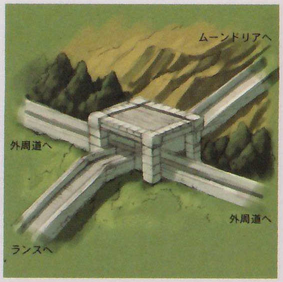






【地下参道】

サルモン神殿へ向かう際、外周の道は往来を容易にする為、緩やかな傾斜に作られている分距離が長い。その為、大抵の人々はムーンドリアからの地下参道を利用する。地下参道内部は馬車などの行き来を可能にするために階段は用いられていない。



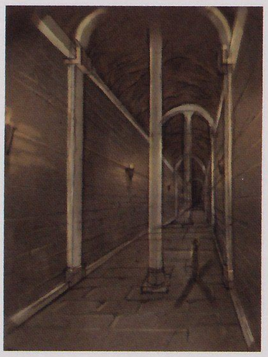
(上)ランス・ムーンドリア・外周道の交差地点
(左・下)地下参道内部

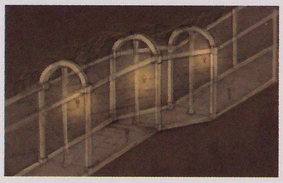


地下参道入口(ムーンドリア北の森)

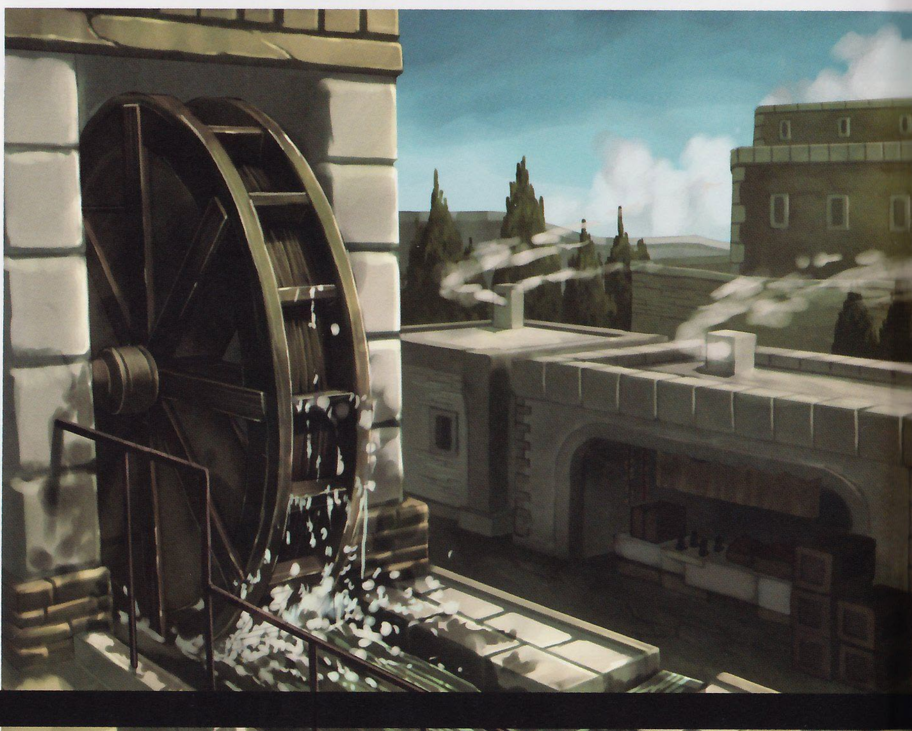


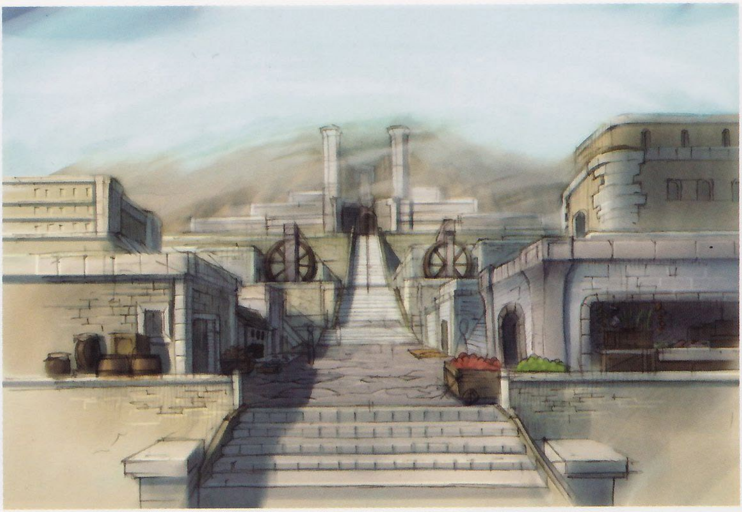
地下参道出口



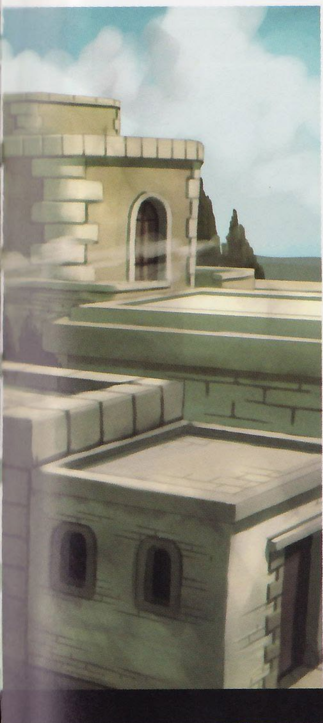


【ラミアの村】 サルモン神殿への玄関口。元は神殿への参拝者用に作られた。



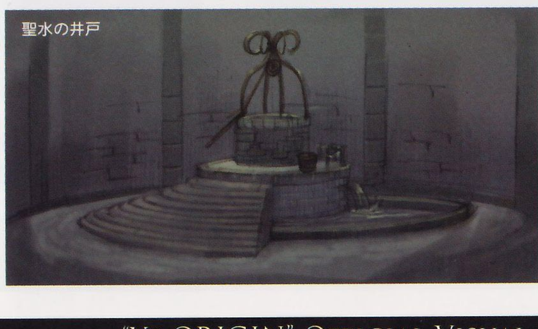


【ラミアの村ラフイメージ】





サルモン神殿への扉



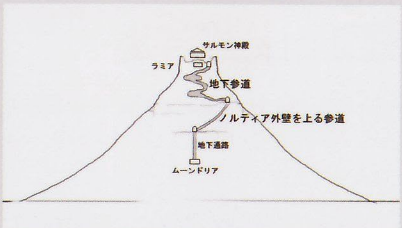
聖水の井戸



【バーンドブレスイメージ】

【ノルティア氷壁・バーンドブレス設定】

王国全盛期→ 元々、ノルティア氷壁やバーンドブレスはサルモン神殿へ続く参道だった。





*外壁の参道

- 氷壁地帯・溶岩地帯は、元はムーンドリア神官区から
  サルモン神殿へと続く参道だった。
- 外壁の参道はまだ凍り付いてはおらず、
  地下参道は地熱によって暖かな環境を保っている。
- 地下参道を抜けた所にラミアの村が栄えている。

魔物襲来後→ 魔物の襲撃を抑えるために防壁化し、女神がノルティア氷壁とバーンドブレスを生み出した。



【700年前　女神と神官によって起こされた環境変化】

- 魔物の動きを鈍らせるために
  ノルティアの気温を下げて氷壁化。(後ノルティア氷壁)

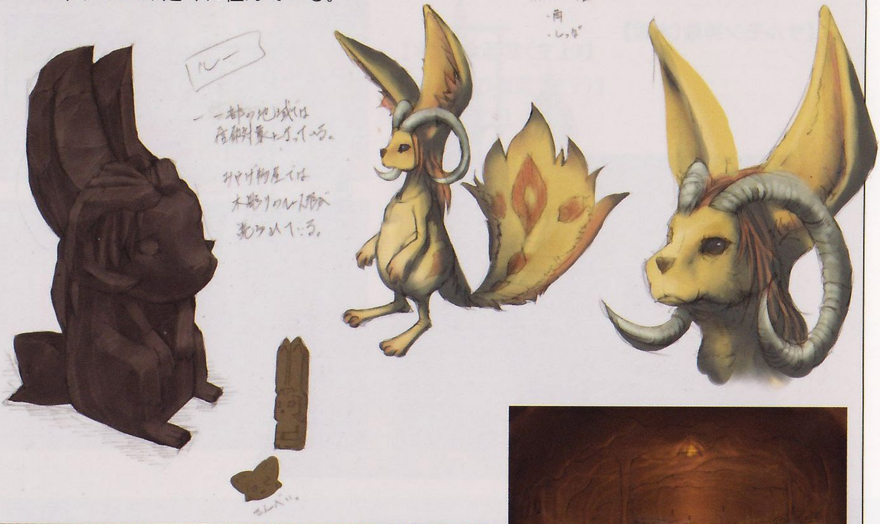
↓

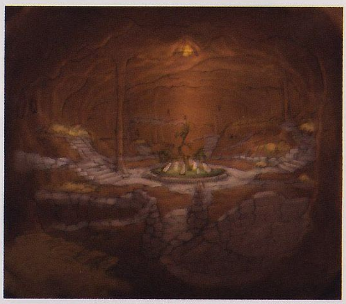
- 地下参道を通ってきた魔物を殲滅するために
  地下参道を溶岩地帯化。(後バーンドブレス)

↓

- 最後の手段としてイースごと雲の上まで上昇。

【神獣ルー設定】
バーンドブレスの近くに住んでいる。





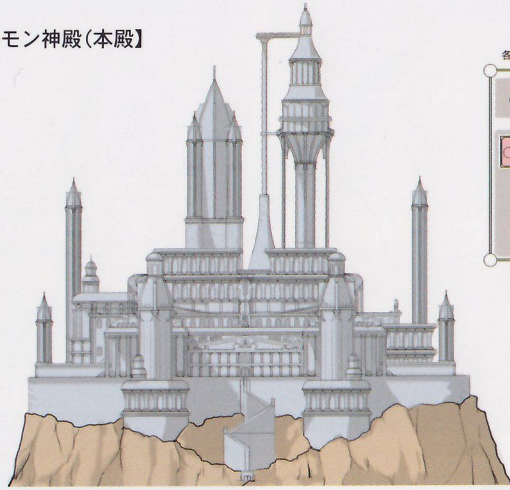


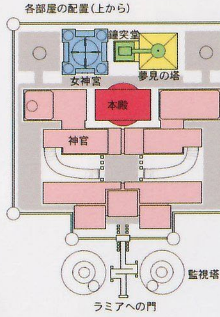


【ノルティア氷壁イメージ】

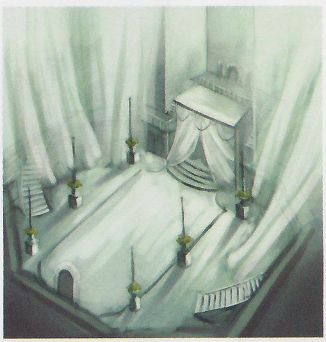
サルモン神殿

【サルモン神殿(本殿)】





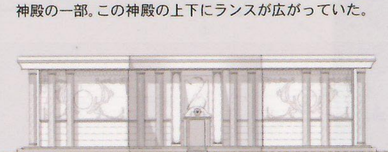
【女神宮の個室と空中庭園】



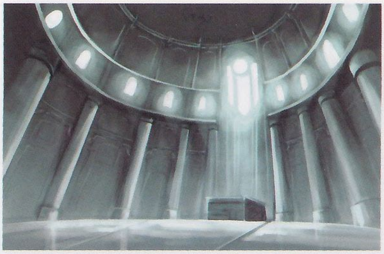


【サルモン神殿(地上に残された神殿)】

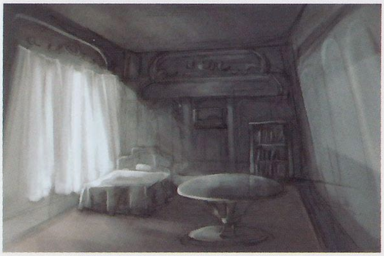
イース王国が浮上した際、地上に取り残されてしまった神殿の一部。この神殿の上下にランスが広がっていた。

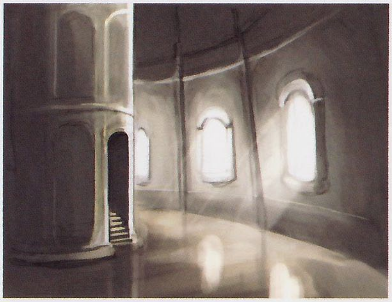






【本殿：大聖堂（左上）】
【神官区の個室（左下）】
【見晴台（下）】



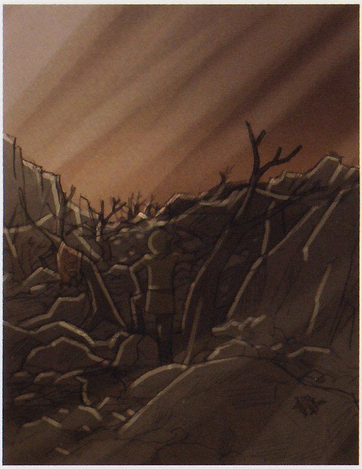




イース浮上による影響

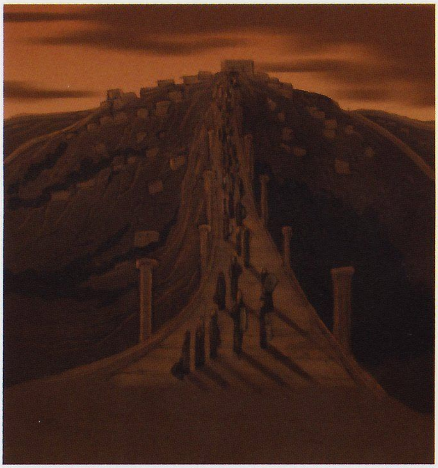


【エステリア崩壊イメージ】



【イース浮上後の地上】

地上はイースからの落石、砕けた岩や燃えた木の残骸で歩くのもやっとの状態と化した。



【上層部へ避難する人々】

イースを浮上させる前日には、下層や外周部に住む人々は上層部へ避難をした。

【バギュ＝バデットの誕生】



【イース浮上】
プレシェス山からの分離まではスムーズだったが、上に向かう筈の力が地表近くで滞り、拡散を起こす。
しばらく停滞した後、その力により周囲の岩盤は砕け、地割れが起こった。
このため、地上にある周囲の町は壊滅的なダメージを受ける。溶岩もこの力により溢れ出てしまった。



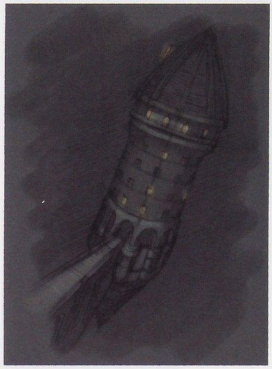
【バギュ＝バデット（イース浮上直後）】
内側の岩盤がめくれ、場所によっては非常に不安定な状態。
地盤の沈下や倒壊、風化により、数百年後のバギュ＝バテット上部は
直後よりも平らな状態に落ち着いた。



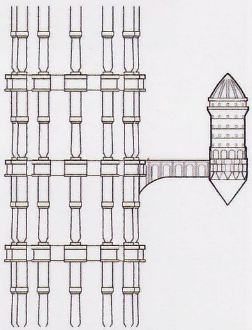
《塔》



【塔初期イメージ】

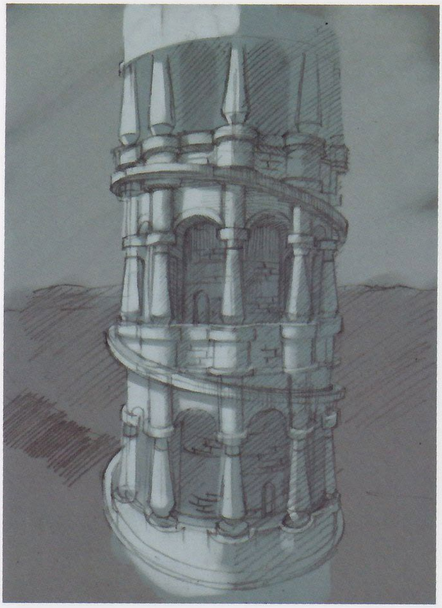


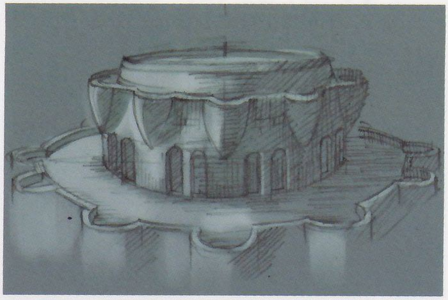
【ラドの塔】

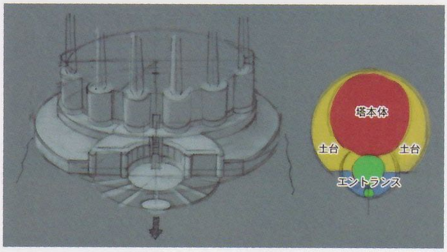




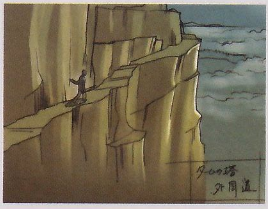
【エントランスイメージ】







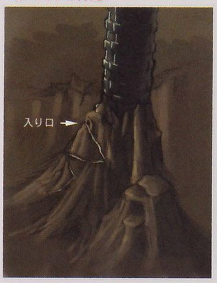
【塔外観ラフイメージ】



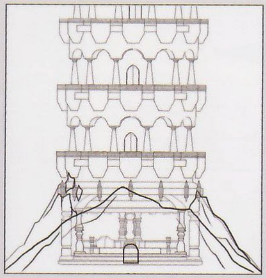
【ダームの塔　外周の道】

ダームの塔を支える岩肌には、翼のない魔物が作った険しい道がある。地上から岩肌をつたい、後に「盗賊の砦」と呼ばれる横穴からダームの塔の入り口へ進む事ができる。しかし、700年後には岩の風化により、人が通れる道はなくなってしまった。

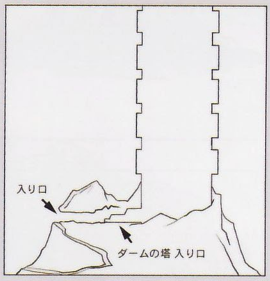
塔　入り口付近



正面



側面



ロダの木

イース王国に生育する聖なる木。その中でも一際大きな2本の「兄弟の精霊樹」がバギュ=バデットの南に存在する。



←【ロダの木(兄)】

ロダの木(兄)の周囲にはイースが浮上する際に落下した大岩が突き刺さっている。



【ロダの木(弟)】→

ロダの木(弟)は兄より南下した位置に立っている。弟の根元にはシルバーソードが埋まっている。

【ロダの若木】





【ロダ根元イメージ】





【ロダ(兄)イメージ】



【ロダの実】

ロダの実を食べると、MPを回復し、種は木とテレパシーで意思の疎通が可能になる。



【ロダの葉】

口に当て、マスク代わりに使用すると、空気を清浄化してくれる。

【ロダ(弟)イメージ】





OPENING MOVIE

オープニングムービー

イース王国全盛期の平和な時代から、
サルモン神殿が浮上し、捜索隊が地上に降り立つまでを、
迫力のサウンドと美麗グラフィックで送るオープニングムービー。
物語の始まりを描いた重要なムービーをトリミング前の画像と共に辿る。





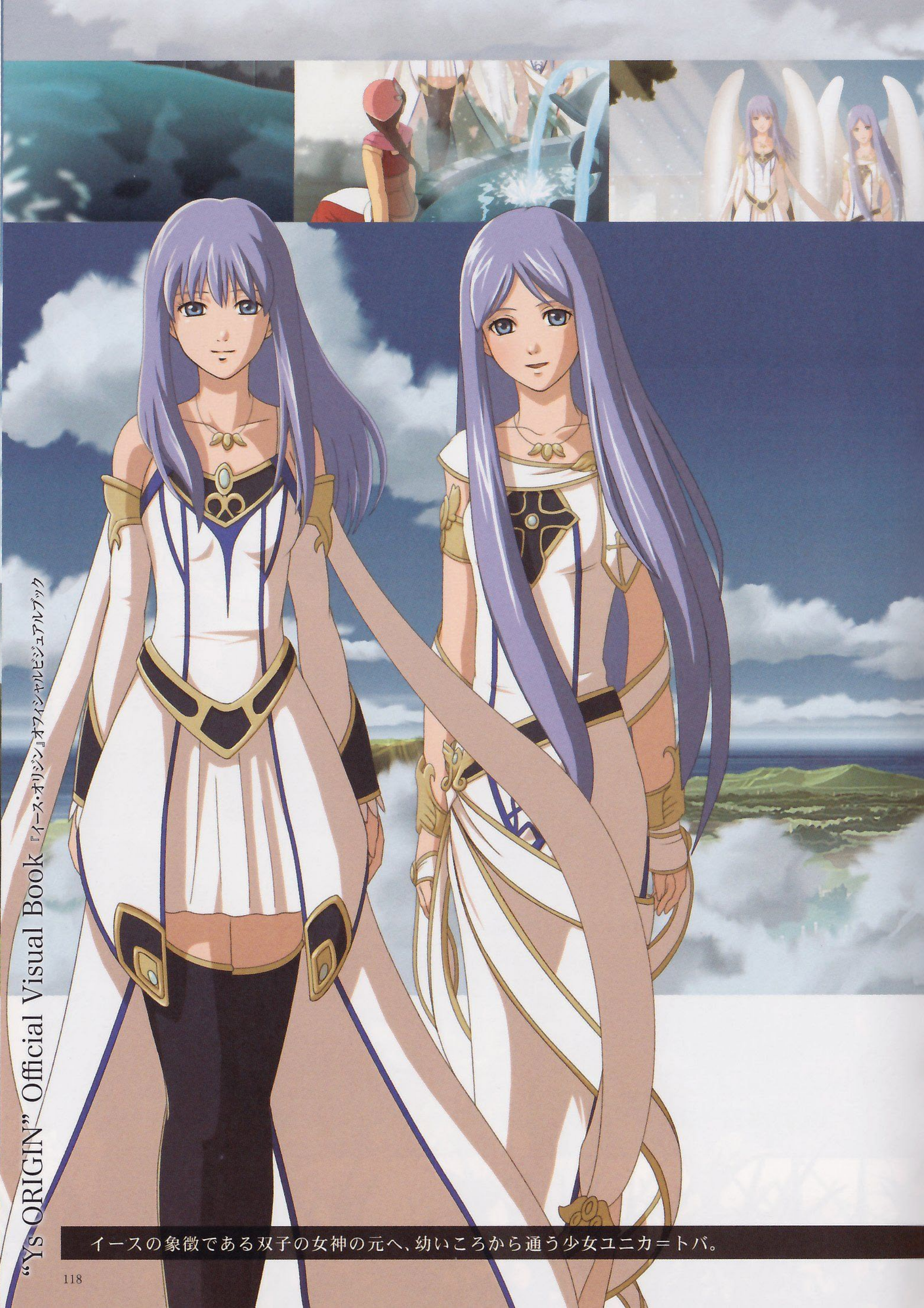




かつて、エステリア地方に存在した理想郷・イース王国。



緑豊かな大地が広がるその国は、まさに地上の楽園であった。



イースの象徴である双子の女神の元へ、幼いころから通う少女ユニカ＝トバ。





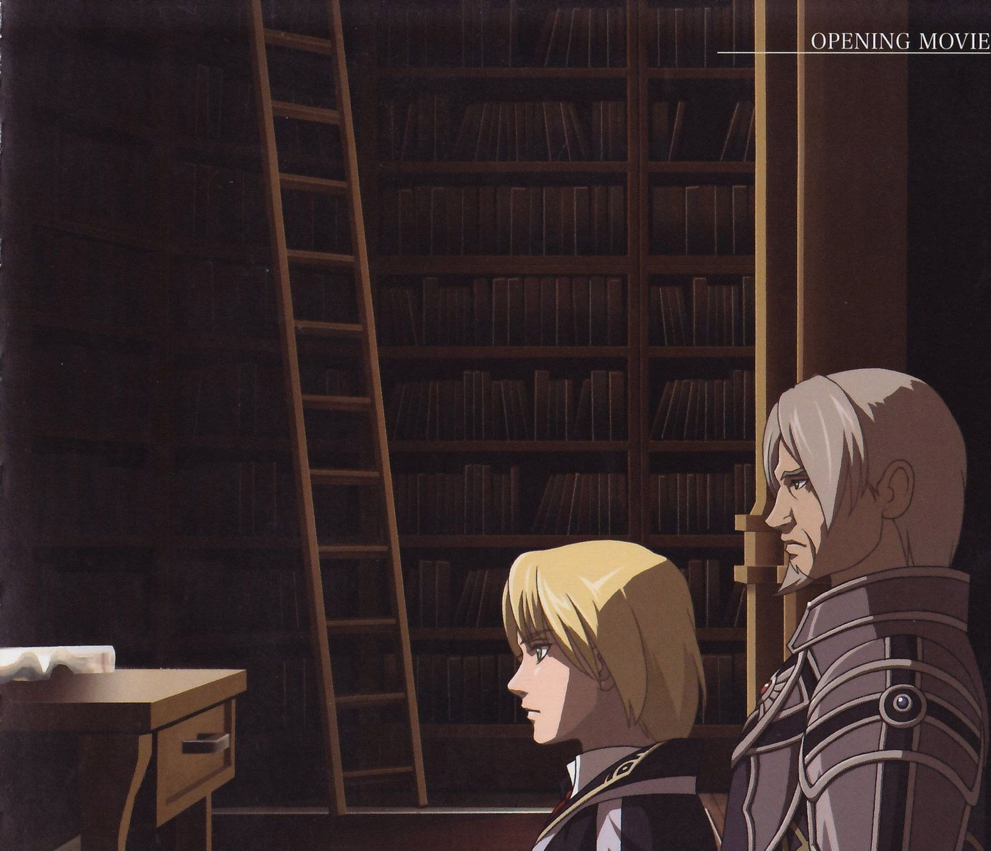
大好きな２人と過ごす穏やかで優しい時間は、いつまでも続くかに思われた。







多くの魔道書に囲まれ、暗い書庫で独り日々を送るユーゴ＝ファクト。





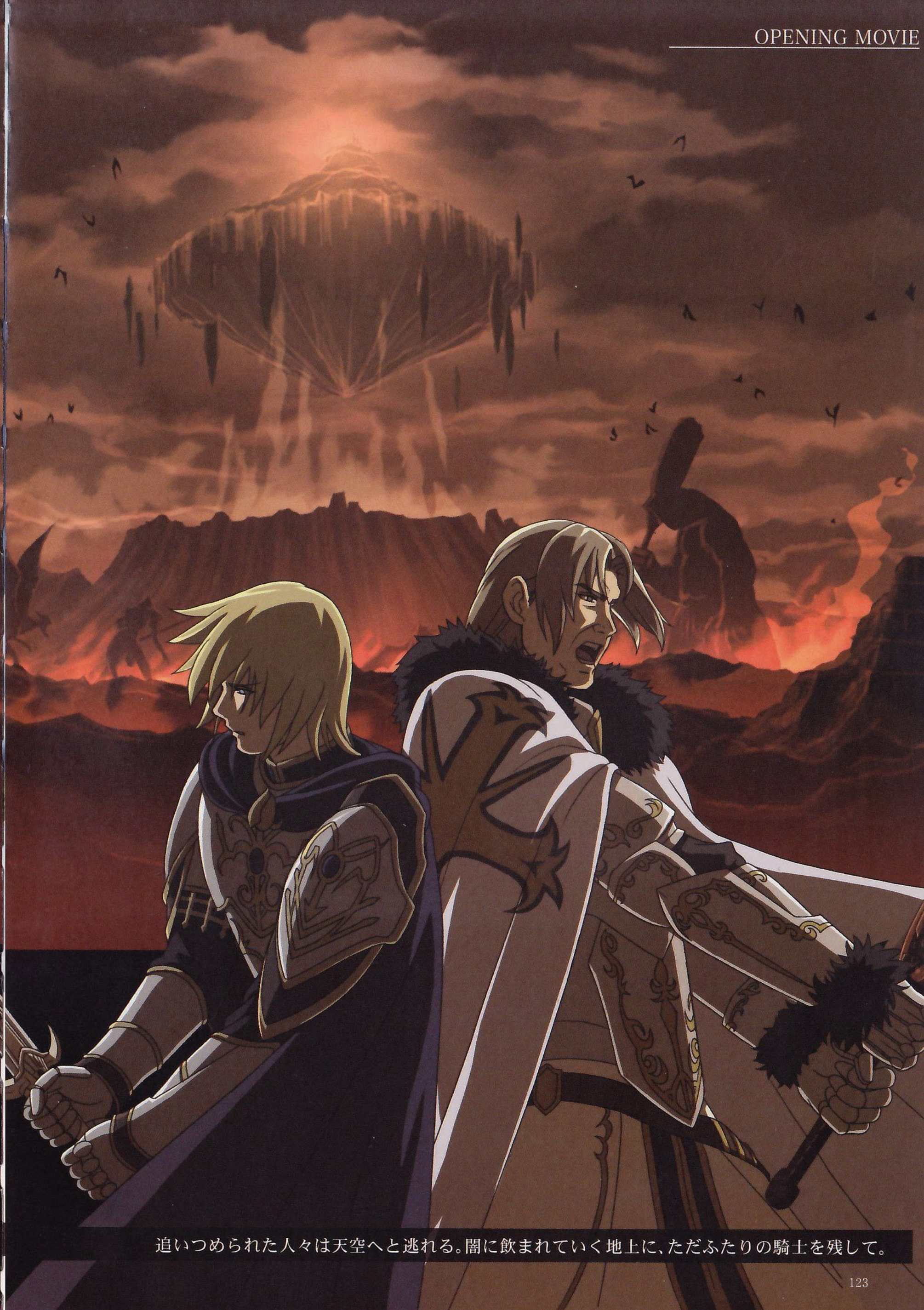




窓から差し込む眩しいはずの陽の光も、やがて影に覆われていった。



《黒真珠》――その黒き輝きに邪なる炎が宿ったとき、イースは破滅への道を歩み始めた。



追いつめられた人々は天空へと逃れる。闇に飲まれていく地上に、ただふたりの騎士を残して。



地上を離れたイース。――しかし絶望は止まらない。迫り来る漆黒の《塔》。



そして、恐怖に怯える人々を残して、双子の女神が神殿から姿を消した。





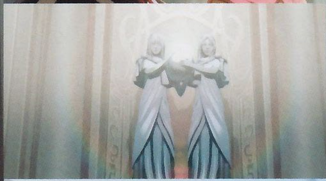
















六神官の命により集まった若者たち。白き翼を追って、闇に閉ざされた地上へと向かう。



かつての面影は消え、数多の魔物が蹂躙し、炎に包まれていく大地。



そして、地上を目指す捜索隊に、《闇》を名乗る者たちの魔の手が忍び寄る。



女神を捕らえようとする《闇》。そして、それに協力する謎の《鉤爪の男》。



独りたたずむ彼は、その視線の先に何を追い求めるのか──。



黒衣の魔道師が放った術により、散り散りとなって地上へ落ちていく捜索隊。



――そして、すべての運命はその《塔》に集う。



Illustration Gallery

イラストギャラリー

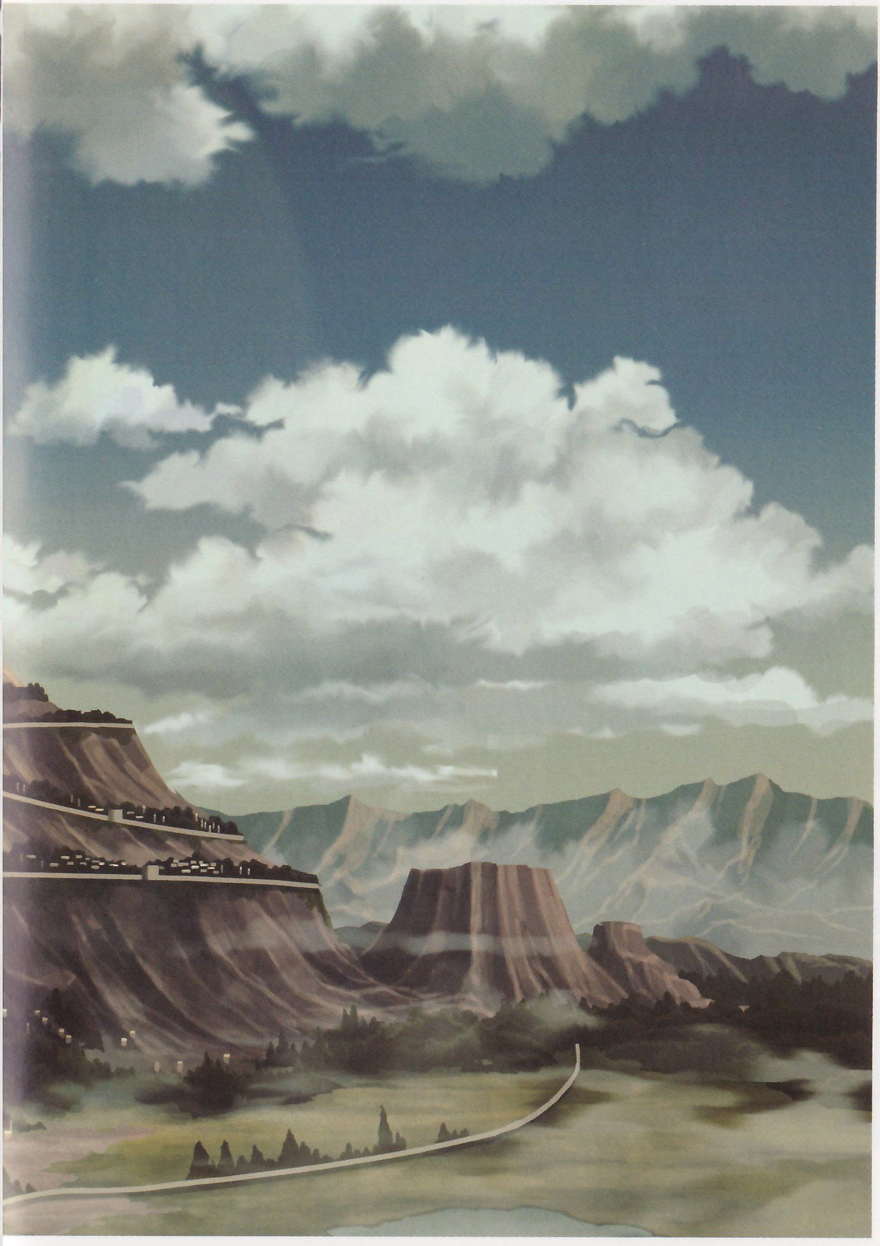
初公開となる３ＤＣＧや、
本書の表紙を飾ったキャラクターイメージイラスト等、
これまで紹介しきれなかったイラストをまとめて大公開。
美麗ビジュアルが「イース・オリジン」の世界を鮮やかに彩る！









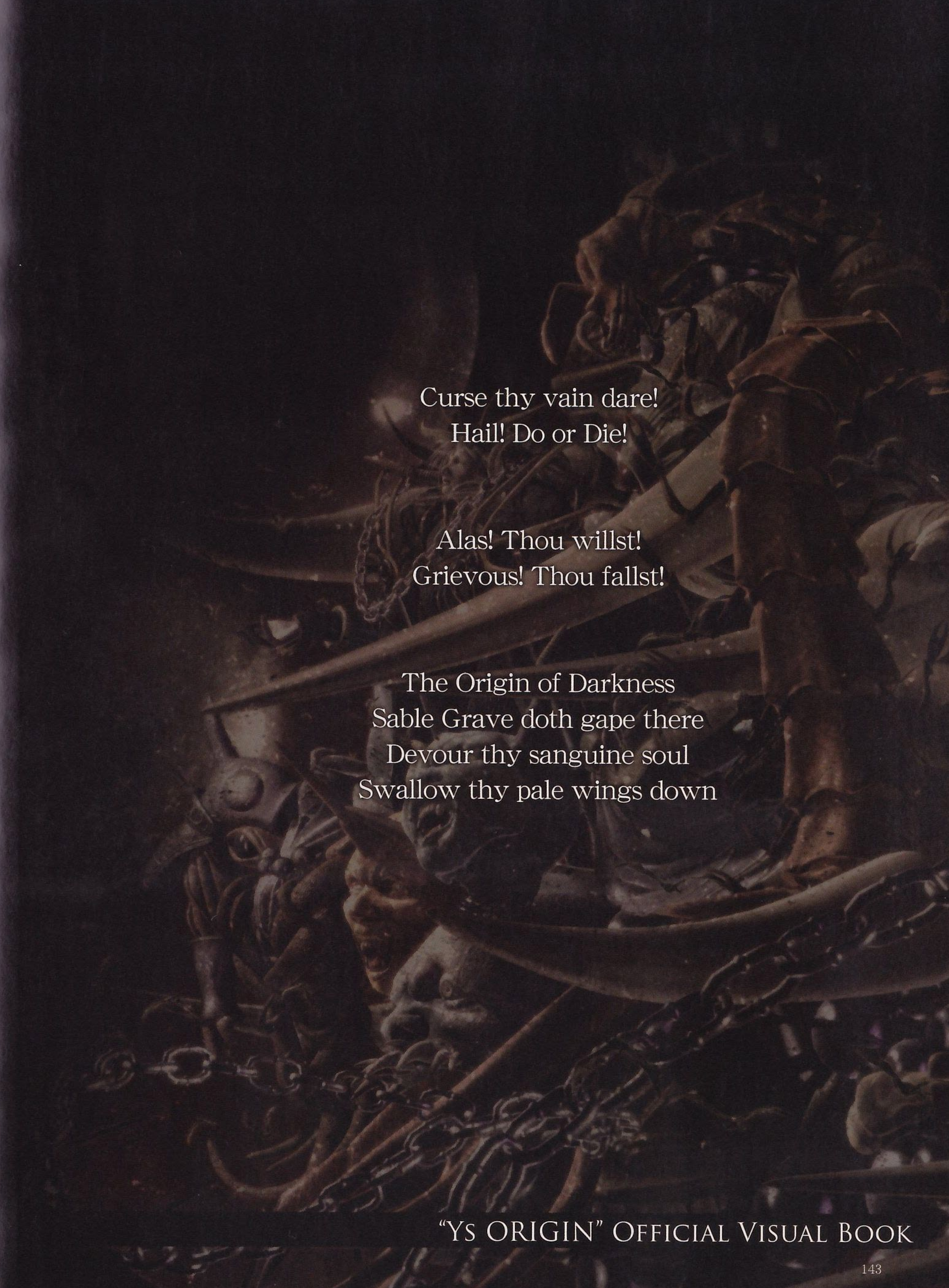












Curse thy vain dare!
Hail! Do or Die!

Alas! Thou willst!
Grievous! Thou fallst!

The Origin of Darkness
Sable Grave doth gape there
Devour thy sanguine soul
Swallow thy pale wings down



Ys ORIGIN OFFICIAL VISUAL BOOK

イース・オリジン オフィシャルビジュアルブック

2006年12月21日　発行

制作・著作

日本ファルコム株式会社

〒190-0012　東京都立川市曙町1-14-13　立川MKビル

URL http://www.falcom.co.jp/

乱丁落丁本は、当社送料負担でお取り替え致します。上記宛にお送り下さい。但し、初回限定特典のため、お取り替えできない場合がございます。あらかじめご了承下さい。尚、この本の内容に関するお問い合わせは一切ご遠慮下さい。





Ys ORIGIN

OFFICIAL VISUAL BOOK

Falcom

Ys ORIGIN OFFICIAL VISUAL BOOK Falcom